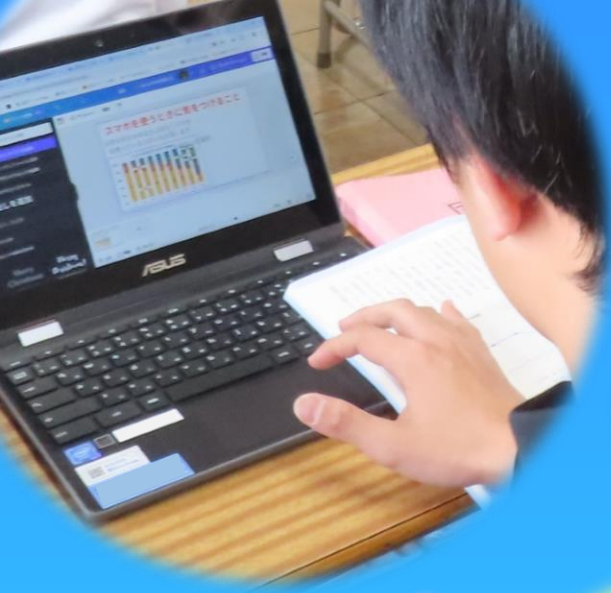




令和7年度 実行計画

鈴鹿市教育振興基本計画



鈴鹿市／鈴鹿市教育委員会

目次

1	はじめに	1
2	取組内容一覧	2
3	取組内容	
【1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成】		
(1)	1-1 学力向上	3
(2)	1-2 教育D Xの推進	4
(3)	1-3 英語教育	5
(4)	1-4 読書活動	6
(5)	1-5 就学前からの一貫した学びの充実	7
(6)	1-6 キャリア教育及び主権者教育	8
(7)	1-7 自ら学ぶ子どもの育成	9
【2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成】		
(8)	2-1 不登校対策	10
(9)	2-2 いじめ防止対策	11
(10)	2-3 生徒指導	12
(11)	2-4 人権教育	13
(12)	2-5 特別支援教育	14
(13)	2-6 日本語教育及び多文化共生教育	15
(14)	2-7 道徳教育	16
【3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成】		
(15)	3-1 心身の健康と食に関する教育	17
(16)	3-2 文化・芸術活動	18
(17)	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供	19
【4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進】		
(18)	4-1 休日の部活動地域移行	20
(19)	4-2 地域とともにある学校づくり	21
(20)	4-3 安全・安心の学校づくり	22
(21)	4-4 郷土教育及び環境教育	23
【5 学校環境の整備・充実】		
(22)	5-1 学校規模の適正化	24
(23)	5-2 施設等の環境整備	25

1 はじめに

(1) 実行計画

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、令和6年度から令和9年度までを計画期間とする教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、鈴鹿市教育振興基本計画（以下「基本計画」という。）を令和6年4月に策定しました。この基本計画では、「めざす子どもの姿」を実現させるため、基本理念のもと3つの基本目標を設定し、その目標の具現化のために、こどもと地域のあるべき姿として、5つの施策の基本的方向を設定しています。

基本計画の実行計画は、5つの施策の基本的方向の下、実施される各基本事業の取組に係る単年度の行動計画をまとめたものです。

(2) 基本計画の進行管理

基本計画を効果的に推進し、継続的な改善を図るために、「めざす姿」と活動指標（または成果指標）を設定し、計画・実行・確認・改善のサイクルを繰り返しながら、事業の振り返りや見直しを図り、より実効性が担保できるようにします。具体的には、実行計画に沿った活動結果を地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」に基づき、進行管理を行い、学識経験者による評価を経て市議会や市民へ公表します。

P D C A サイクル



2 取組内容一覧

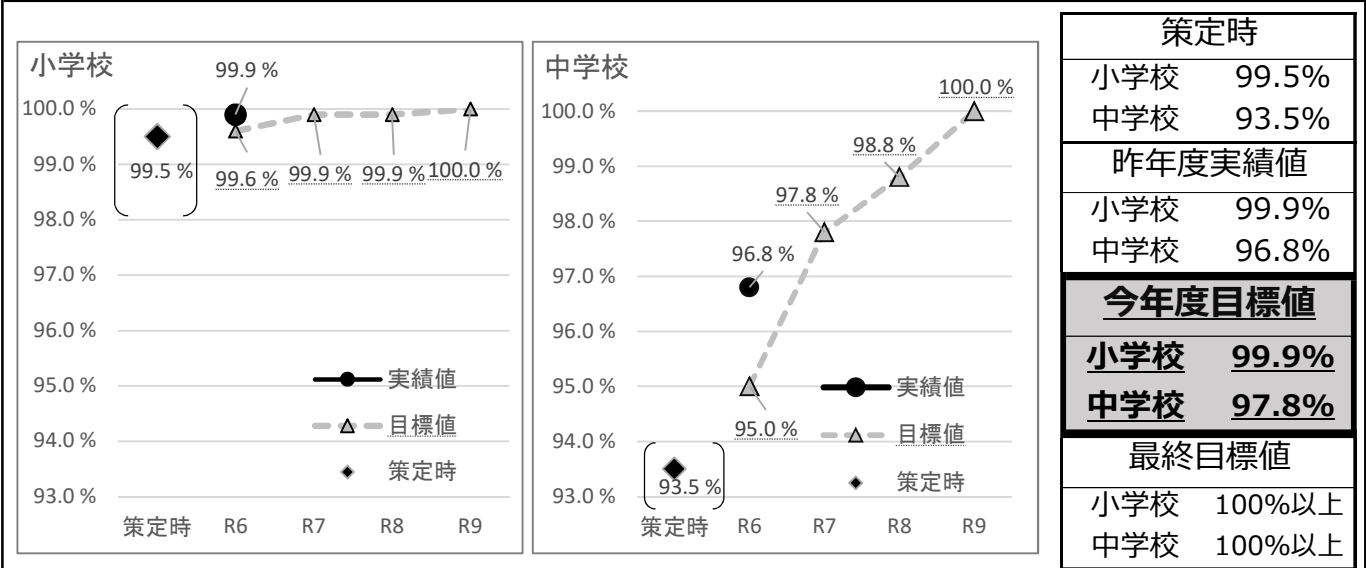
No.	基本事業	取組内容	指標	策定時 (※1)	昨年度実績値	今年度目標値 (※2)	最終目標値	担当課
1	1-1 学力向上	①「授業力UP5★」を活用した授業改善 ②ICTを活用した学びの促進 ③読解力の育成に向けた取組 ④学力向上プロジェクト会議を通じた市内共通取組の推進	全国学力・学習状況調査の国語・算数/数学における、全国の平均正答率に対する本市の平均正答率の割合 【全国学力・学習状況調査】	小学校 99.5% 中学校 93.5%	小学校 99.9% 中学校 96.8%	小学校 99.9% 【前年度】99.8% 中学校 97.8% 【前年度】96.8%	小学校100%以上 中学校100%以上	教育指導課
2	1-2 教育DXの推進	①情報活用能力の育成 ②情報モラル教育の充実 ③ICT活用推進プロジェクト会議による組織的推進体制の構築	「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」という問いに「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	31.0%	29.2%	52.8% 【前年度】65.5%	100.0%	教育指導課 教育支援課 教育政策課
3	1-3 英語教育	①「CAN－DOLIST」を踏まえた英語教育の推進 ②ICTを活用した新たな学びの創造 ③外国語指導助手の活用	中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当（英検3級など）以上を達成した中学生の割合【英語教育実施状況調査】	26.5%	39.4%	43.0% 【前年度】38.3%	50.0%	教育指導課
4	1-4 読書活動	①不読率の低減 ②デジタル社会に対応した読書環境の整備 ③多様なこどもたちの読書機会の確保 ④こどもの視点に立った読書活動の推進 ⑤鈴鹿市立図書館との連携	「読書は好きか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】 【R6年度は独自調査にて把握】	小学校 69.7% 中学校 61.1%	小学校 62.6% 中学校 58.2%	小学校 65.4% 【前年度】70.4% 中学校 60.5% 【前年度】63.1%	小学校 71.0% 中学校 65.0%	教育指導課
5	1-5 就学前からの一貫した学びの充実	①円滑な接続のための連携の強化 ②こどもたち同士の交流の促進 ③小中一貫教育の実践 ④教職員同士の交流や研修体制づくりの推進 ⑤幼稚園・保育所の連携	「近隣等の校種の違う学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったか」という問いに「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合【学校質問紙】	80.0%	80.0%	82.5% 【前年度】85.0%	87.5%	教育指導課
6	1-6 キャリア教育及び主権者教育	①キャリア教育の充実 ②主権者教育の充実	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	72.1%	81.5%	76.1%	80.0%	教育指導課 教育支援課
7	1-7 自ら学ぶ子どもの育成	①こどもが自ら学ぼうとする学習の創造	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	78.1%	85.7%	87.2% 【前年度】84.1%	90.0%	教育指導課
8	2-1 不登校対策	①学校支援体制の充実 ②安心できる学び場づくり ③教育支援センターの運営 ④関係機関との連携	全国の長期欠席人数の割合を100とした時の鈴鹿市の長期欠席人数の割合の値【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】	122	120	113 【前年度】115	100未満	教育支援課
9	2-2 いじめ防止対策	①いじめ防止の推進 ②早期発見、早期対応 ③相談体制の充実	「いじめをしない・させないよう、友だちとともに考え、行動しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	88.0%	88.4%	90.5%	93.0%	教育支援課
10	2-3 生徒指導	①組織的な生徒指導体制づくり ②児童生徒による主体的な取組 ③関係機関などとの連携	「学校やクラスのルールやきまりを理解し守ることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	92.8%	92.0%	93.3% 【前年度】94.4%	96.0%	教育支援課
11	2-4 人権教育	①学校・園における人権教育の推進 ②鈴鹿市人権教育センターを拠点とした人権教育の推進	「差別をなくすために何かできることをしたいか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	90.7%	91.1%	92.5%	94.0%	教育支援課
12	2-5 特別支援教育	①途切れない支援体制の充実 ②通級による指導の充実 ③特別支援教育プロジェクト会議による方向性の検討 ④特別支援学校や関係機関と連携した教育	全児童生徒において、個別の指導計画を作成している児童生徒の割合【三重県独自調査】	7.3%	15.3%	12.0% 【前年度】9.7%	12.0%	教育指導課
13	2-6 日本語教育及び多文化共生教育	①日本語教育支援体制の充実 ②一人ひとりに応じた適応支援 ③多文化共生に関わる授業づくり ④外国人児童生徒の就学支援・キャリア教育の充実	「多くの国の人と友だちになったり、自分の国以外の国のことについてもっと知りたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	84.5%	85.1%	87.4%	90.0%	教育支援課
14	2-7 道德教育	①道德科の授業改善 ②学校教育活動全体を通じた道德教育の推進	「道德の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	82.6%	89.6%	89.6% 【前年度】84.8%	87.0%	教育指導課
15	3-1 心身の健康と食に関する教育	①日常的な体育活動の推進 ②健康課題を解決するための取組の推進 ③食育の推進	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	86.4%	87.2%	88.2%	90.0%	教育指導課 学校教育課
16	3-2 文化・芸術活動	①芸術活動の推進 ②「未来応援人」の活用推進 ③ICTを活用した文化・芸術教育の充実	「未来応援人」を活用した学校の割合	67.5%	80.0%	82.5%	85.0%	教育指導課
17	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供	①安全・安心な学校給食の提供 ②給食調理施設・設備の適切な維持管理等の推進 ③学校給食を通じた地域貢献と食への関心の醸成	中学校給食における副菜の残菜率	11.6%	9.1%	8.7% 【前年度】9.8%	8.0%	教育総務課
18	4-1 休日の部活動地域移行	①地域移行に向けた調査研究 ②モデル事業の実施 ③体制の構築	休日の部活動地域移行実施率（全部活動のうち、休日の移行ができた部活動の割合）【独自調査】	0%	35.6%	100.0% 【前年度】97.5%	100.0%	教育指導課
19	4-2 地域とともにある学校づくり	①「協働型」コミュニティ・スクールの活性化 ②コミュニティ・スクールの推進 ③地域とともにある学校づくり	「学校と地域が連携した取組が行われているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合【学校アンケート（保護者）】	86.3%	84.6%	87.4% 【前年度】89.6%	93.0%	教育支援課
20	4-3 安全・安心の学校づくり	①交通安全、防犯、防災・減災教育の充実 ②家庭、地域及び関係機関などと連携した安全確保の推進 ③通学路の安全確保	「危険なことから自分たちを守るため、安全な行動を取っているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】	93.1%	92.9%	94.5%	96.0%	教育支援課 教育指導課
21	4-4 郷土教育及び環境教育	①地域人材や社会教育施設等を活用した地域学習 ②地域教材の開発と活用	「今住んでいる地域の行事に参加しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】	51.2%	59.8%	63.2% 【前年度】60.6%	70.0%	教育指導課
22	5-1 学校規模の適正化	①学校規模適正化・適正配置の検討 ②学校再編計画の策定 ③小中一貫教育に適した学校施設の在り方の検討	再編計画の策定数	1	1	1	2	教育政策課
23	5-2 施設等の環境整備	①学校施設等の整備と適切な維持管理 ②屋内運動場の空調設備の設置推進 ③トイレの洋式化の推進	屋内運動場に空調設備を設置した学校の割合	7.5%	52.5%	100.0%	100.0%	教育政策課 教育総務課

(※1)策定時として表記している数値は、基本計画策定時における【現状値】を示しております。

(※2)【前年度】として青色で表記している数値は、令和6年度実行計画における【令和7年度目標値】を示しております。

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 1 学力向上
指標	全国学力・学習状況調査の国語・算数/数学における、全国の平均正答率に対する本市の平均正答率の割合【全国学力・学習状況調査】

1 指標の目標等



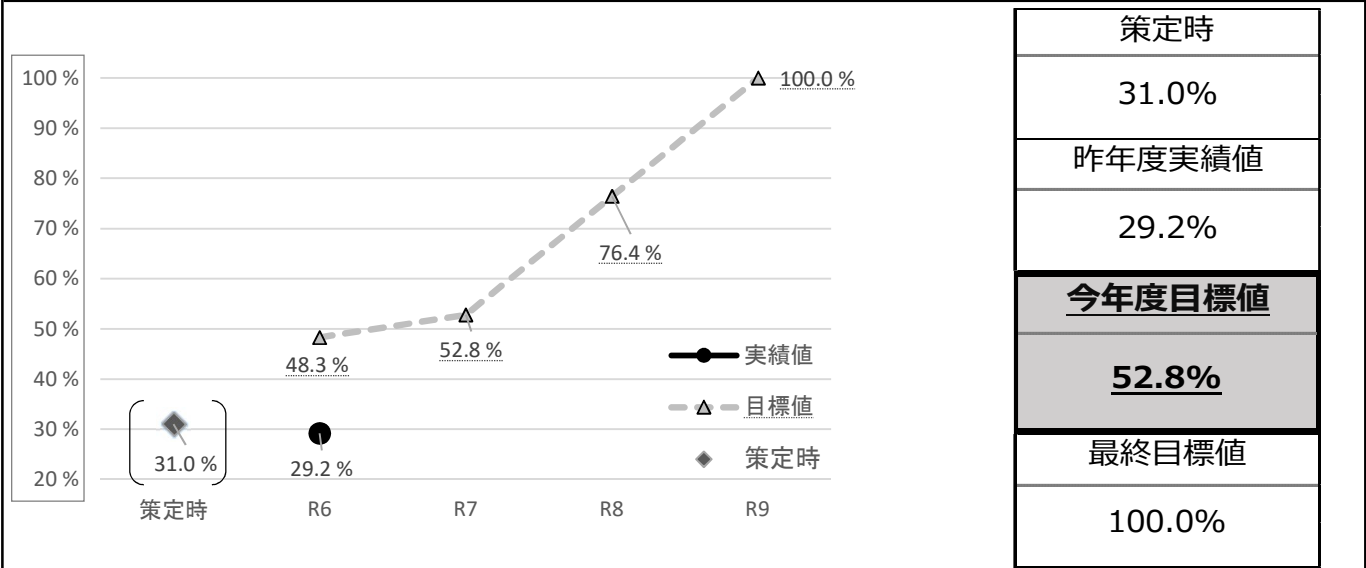
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 児童生徒の1人1台端末の活用を促進し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図るために見直しを行った「授業力UP5 ★ver.2」を取り入れた授業改善の取組を一層推進します。「授業力UP5 ★ver.2」の活用を広く促すために、各研修会等において指導主事が具体的な実践例を示しながら指導や助言を行い、教員の指導力向上を支援します。
 - 指導教諭等による授業実践を行い、めざす授業の具現化を図る研修会を開催します。
 - こどもたちの読解力・表現力・思考力等を育成するために、学校図書館を活用した授業実践を市内の全小中学校に展開するとともに、「鈴鹿市中学生ビブリオバトル」を開催します。
 - 読解力の向上を図るために、継続して「読解力向上ワークシート」（「読む・書くワークシート」及び「よむYOMUワークシート」）に市全体で取り組みます。各校の実態に応じた効果的な活用を可能とするため「読む・書くワークシート」の内容を見直し、より実践的な教材を作成します。また、活用事例や指導のポイントを共有できる特設サイトをリニューアルし、より活用しやすい環境を整備します。
 - こどもの学びの保障の観点から、児童生徒の学校や家庭における学習e-ポータルの活用を促進します。
 - プロジェクト会議で学力向上に係る協議を行い、その方針に基づき、ICTを活用した授業改善を一層推進し、市全体の学力向上を図ります。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
2024年度の実績値は小学校99.9%、中学校96.8%であったため、2027年度の目標値100%以上に向け、小学校は現状以上、中学校は年間約1ポイント増を目標として設定した。	実行計画番号 実行計画書の事業名
	12102 教育研究推進支援事業
	12104 学力向上支援事業
	12106 小学校教育推進事業
	12108 中学校教育推進事業

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1－2 教育DXの推進
指標	「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」という問いに「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

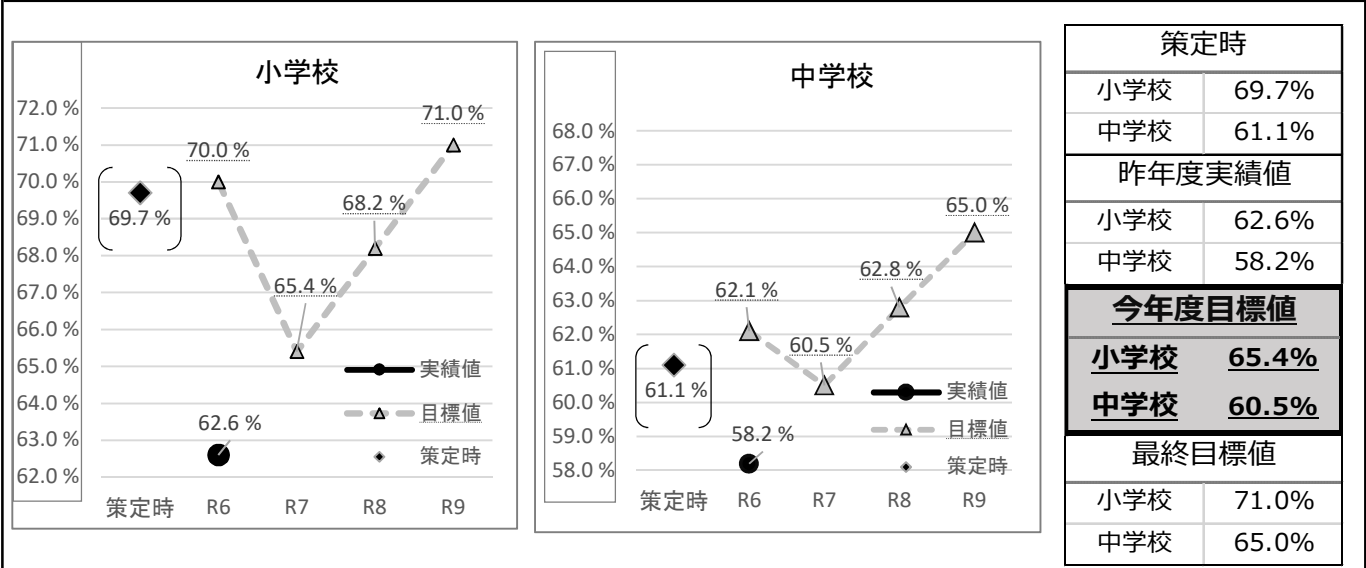
◆年間の活動計画							
●指導主事が各小中学校を訪問し、情報教育推進担当者や研修主任、学力向上担当者、指導教諭等と端末を活用した授業改善等に係る情報交換を行うとともに、端末活用率などの状況に応じた校内研修等の支援を行います。 ●端末を活用した授業を指導教諭等と指導主事が共に作り、市内に公開することで好事例を発信します。 ●国及び県の事業を活用し、端末及びクラウドを活用した授業改善及び校務DXを横展開します。 ●「鈴鹿市版 情報活用能力体系表」に基づき、「情報」の系統的なカリキュラム作成を行います。 ●ICT活用指導力を高めることを目的に、教職員のニーズに応じた定期的な研修講座の開催及び先進自治体への視察を推進します。 ●授業での端末活用につながるよう、端末持ち帰りによる家庭学習の質を高めます。 ●端末を活用した授業改善及び学力向上に資する組織的な取組を推進するために、中学校区の情報教育推進担当者や研修主任、学力向上担当者、指導教諭等が連携する担当者会を実施します。 ●小中学生のインターネット上でのトラブルを未然に防ぐために、出前講座を実施し、情報モラル教育の推進を図ります。また、各学校において、教育課程全体を通じて未然防止に取り組むことができるように、教材等の提供を行います。							
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画						
2024年度の実績値は29.2%であったため、2027年度の目標値100%に向け、年間23.6ポイント増を目標として設定した。	<table border="1"> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> <tr> <td>12104</td><td>学力向上支援事業</td></tr> <tr> <td>12151</td><td>教育情報化推進事業</td></tr> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12104	学力向上支援事業	12151	教育情報化推進事業
実行計画番号	実行計画書の事業名						
12104	学力向上支援事業						
12151	教育情報化推進事業						

施策の基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 3 英語教育
指標	中学校卒業段階で C E F R（セファール）の A 1 レベル相当（英検 3 級など）以上を達成した中学生の割合【英語教育実施状況調査】

1 指標の目標等																				
<table><tr><th>策定時</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr><tr><td>26.5%</td><td>32.4%</td><td>43.0%</td><td>46.5%</td><td>50.0%</td></tr></table>	策定時	R6	R7	R8	R9	26.5%	32.4%	43.0%	46.5%	50.0%	<table><tr><td>策定時</td></tr><tr><td>26.5%</td></tr><tr><td>昨年度実績値</td></tr><tr><td>39.4%</td></tr><tr><td>今年度目標値</td></tr><tr><td>43.0%</td></tr><tr><td>最終目標値</td></tr><tr><td>50.0%</td></tr></table>		策定時	26.5%	昨年度実績値	39.4%	今年度目標値	43.0%	最終目標値	50.0%
策定時	R6	R7	R8	R9																
26.5%	32.4%	43.0%	46.5%	50.0%																
策定時																				
26.5%																				
昨年度実績値																				
39.4%																				
今年度目標値																				
43.0%																				
最終目標値																				
50.0%																				
2 今年度の活動計画等																				
◆年間の活動計画																				
●「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」の4技能5領域の力を総合的に育成するために、言語活動を充実させた授業改善に係る実践研修（授業公開や研修講座等）を行います。 ●「英語によるコミュニケーション」中心の学習を行うため、外国語指導助手（A L T）を効果的に活用し、即興で伝え合う活動を充実させた授業を実践します。また、児童生徒に「生きた英語」を提供するために、授業外でも日常的に交流する機会を確保します。 ●言語活動を充実させた授業づくりに向け、従来の紙の教科書に加え、学習者用デジタル教科書やMEXCBT（メクビット：文部科学省CBTシステム）を活用します。 ●英語教育の充実に向けた授業改善を推進するため、「英語教育担当者会」を活用し、小中連携に係る中学校区ごとの先進的な取組や授業公開における好事例などを発信します。 ●2026年度開校予定の天栄小学校における、小学校低学年からの実践的な英語学習の推進をめざし、天栄中学校区において国際化教育指導員を活用し、日常的に英語に触れる機会を創出します。 ●生徒の英語学習の成果の確認や目標設定など、英語学習の動機付けを図り、さらなる生徒の英語力向上をめざすため、中学校における外部試験を実施します。																				
◆今年度目標値の設定根拠		3 関連する総合計画 2 0 3 1 の実行計画																		
2024年度の実績値は39.4%であったため、2027年度の目標値50.0%に向け、年間約3.5ポイント増を目標として設定した。		<table><tr><th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr><tr><td>12101</td><td>国際化教育推進事業</td></tr></table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12101	国際化教育推進事業														
実行計画番号	実行計画書の事業名																			
12101	国際化教育推進事業																			

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1－4 読書活動
指標	「読書は好きか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】【R6年度は独自調査にて把握】

1 指標の目標等

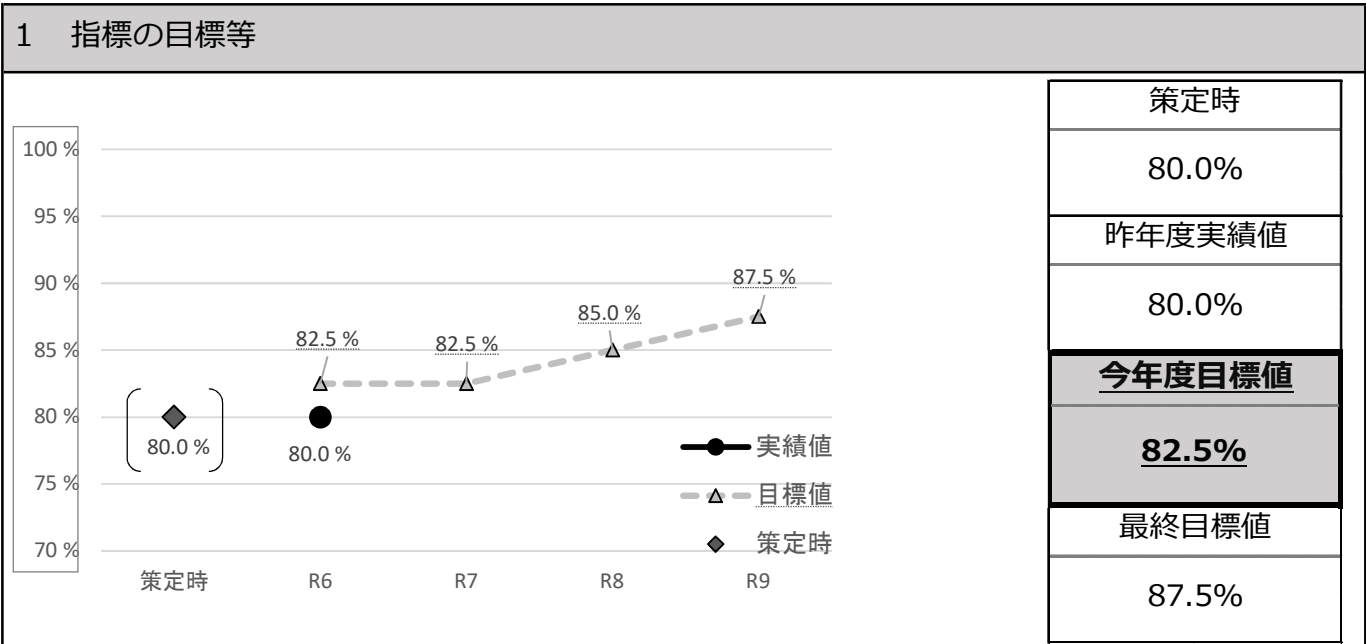


2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校図書館巡回指導員を引き続き学級数に応じて派遣し、中学校区で読書活動が推進するよう、こどもたちが学校図書館に行きたいと思える環境整備をさらに進めます。児童生徒の読書意欲の向上を図るために、オリエンテーションの充実やイベント、ブックトークを行います。
 - 中学校では、電子書籍の活用が促進されるよう、こどもたちが興味を示すコンテンツや多言語図書などを導入するとともに、活用事例を発信します。
 - 昨年度初めて開催した「鈴鹿市中学生ビブリオバトル」を今年度も開催し、中学生が本に興味を持つことで、不読率の低減を図ります。
 - こどもたちが図書館や本をより身近に感じられるよう、昨年度に引き続き、鈴鹿市立図書館と連携を図り、イベントを共催します。
 - 学校図書館担当者会を年間2回開催し、読書活動を計画的に推進するための学校図書館活用年間計画や運営計画を周知するとともに、各校が実践できる好事例を紹介し、担当者に取り組の助言を行います。

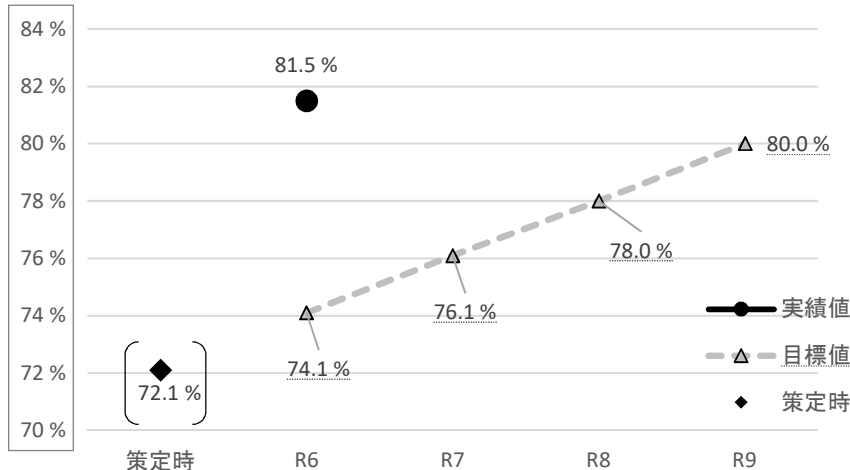
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
2024年度の実績値は小学校62.6%、中学校58.2%であったため、2027年度の目標値に向け、小学校は年間2.8ポイント増、中学校は年間2.3ポイント増を目標として設定した。	実行計画番号
	12103
	12105
	実行計画書の事業名
	学校図書館巡回指導事業
	読書活動推進事業

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1 - 5 就学前からの一貫した学びの充実
指標	「近隣等の校種の違う学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったか」という問いに「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合【学校質問紙】



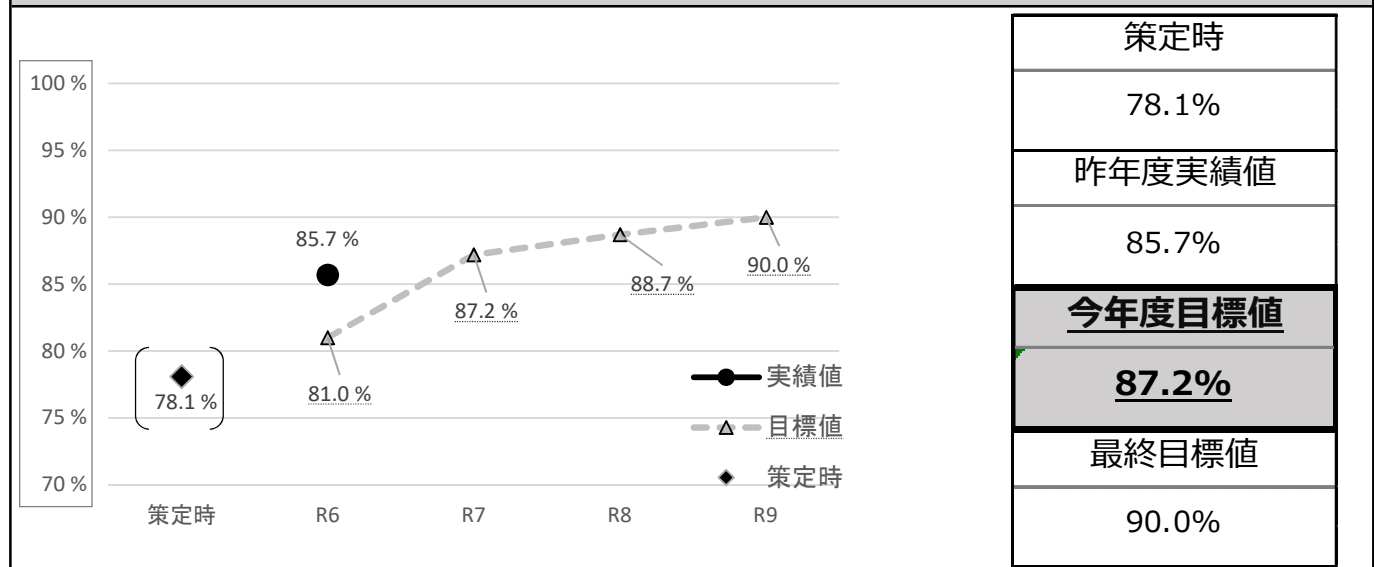
2 今年度の活動計画等	
◆年間の活動計画 ●「鈴鹿市幼小中一貫教育ガイドライン」を基に、取組内容の段階等を確認しながら、中学校区を中心とした実践を進めます。 ●各種研修会や会議等において、こどもの姿や課題の共有、教育課程の接続等に関わる取組を推進するため、中学校区を基本とした研修体制づくりを行います。 ●幼児教育と小学校教育の円滑な接続のために「鈴鹿市版架け橋プログラム」を作成します。教員同士が連携の意識をもち、互いの授業や保育を見合ったり話し合ったりすることで、学びの連続性・一貫性について、共通理解を図ります。 ●円滑な接続に向けた取組として、学校の実情に合わせ、一部教科担任制を小学校中学年まで拡大します。また、園児児童生徒の交流活動を行います。 ●2026年度に開校する天栄小学校への円滑な接続を図るため、合川小学校、天名小学校、郡山小学校の3校児童交流及び3校の開校式を実施します。	
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
2024年度の実績値は80.0%（32校）であったため、2027年度の目標値87.5%（35校）に向け、年間2.5ポイント（1校）増を目標として設定した。	実行計画番号
	12102 教育研究推進支援事業
	12111 新たな小学校準備事業

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1－6 キャリア教育及び主権者教育
指標	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等										
	<table><tr><td>策定時</td></tr><tr><td>72.1%</td></tr><tr><td>昨年度実績値</td></tr><tr><td>81.5%</td></tr><tr><td>今年度目標値</td></tr><tr><td>76.1%</td></tr><tr><td>最終目標値</td></tr><tr><td>80.0%</td></tr></table>	策定時	72.1%	昨年度実績値	81.5%	今年度目標値	76.1%	最終目標値	80.0%	
策定時										
72.1%										
昨年度実績値										
81.5%										
今年度目標値										
76.1%										
最終目標値										
80.0%										
2 今年度の活動計画等										
◆年間の活動計画										
●児童生徒自らの体験活動を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成を図るため、昨年度に引き続き、中学校では職場体験学習を全10校で実施するとともに、小中学校においては「未来応援人」等を活用した出前講座を実施します。 ●将来の生き方を考える活動を通して、児童生徒一人ひとりのキャリア形成と自己実現を図るため、鈴鹿市版キャリアパスポートの活用を促進し、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげる活動に取り組みます。 ●各中学校の生徒会が集まる生徒会研修会において、学校のルール作りや行事の企画・運営等の交流を通して、各校における自治活動の活性化を図ります。 ●市政の仕組みや議会等の活動に関心を高める活動の充実を図るため、選挙管理委員会事務局や議会事務局等と連携し、こども議会や模擬選挙、議場見学等の体験活動を積極的に取り入れます。 ●主権者教育の充実に向けて、市独自の教材の内容の見直しを図るとともに、児童生徒の端末から自由にアクセスすることができるよう、教材のデジタル化等のシステムを構築します。										
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画									
2024年度の実績値は81.5%で、2027年度の目標値を超える結果となったが、持続可能性には疑問があるため、計画策定時の2025年度目標値である76.1%と設定し、着実な実績向上をめざす。	実行計画番号	実行計画書の事業名								
	12109	生徒指導活動等事業								

施策の 基本的方向	1 確かな学力を身に付け、グローバルな視点で主体的に未来を創る子どもの育成
基本事業	1－7 自ら学ぶ子どもの育成
指標	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたり（2024年度からは「新たな考え方に気付いたり」）することができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画					
●自ら学ぶこどもの育成に向けて、教員の授業観の転換を図るために、継続して各校園における校園内研修及びOJTの活性化や、学力向上支援員・指導主事・指導教諭による指導・助言等を行います。また、先進的に取り組んでいる市内小中学校が実施する、公開授業への参加を奨励します。 ●中学校研修担当者会を定期的に開催し、中学校間の連携を深め、校内研修の活性化を図るとともに、各中学校区の小学校に対してもその取組の効果を共有します。 ●市内外の先進的な取組について、研修講座、担当者会、教育指導課研究グループだより及び教委特設サイトを通じて、市内全教職員に発信します。 ●教職員の資質・能力の向上をめざして、経験年数や職種に応じた研修及び今日的教育課題に対応した研修を継続して実施します。また、ICTを活用して、オンライン研修、ハイブリッド型研修、動画視聴型研修など、教職員が学びやすい環境を整えとともに、研修での学びや意見を即時に参加者同士、講師と交流することができる新たな研修の在り方を模索します。 ●鈴鹿市がめざす教育の在り方を研究協議するため、研究委託を行います。 令和7年度発表校園（二年度）：飯野幼稚園、石薬師小学校、愛宕小学校、大木中学校 令和8年度発表校（一年次）：桜島小学校、箕田小学校、鈴峰中学校					
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画				
2024年度の実績値は85.7%であったため、2027年度の目標値90.0%に向け、年間1.5ポイント増を目標として設定した。	<table border="1"> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> <tr> <td>12104</td><td>学力向上支援事業</td></tr> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12104	学力向上支援事業
実行計画番号	実行計画書の事業名				
12104	学力向上支援事業				

施策の基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-1 不登校対策
指標	全国の長期欠席人数の割合を100とした時の鈴鹿市の長期欠席人数の割合の値【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】

1 指標の目標等										
<table><tr><th>策定時</th></tr><tr><td>122</td></tr><tr><th>昨年度実績値</th></tr><tr><td>120</td></tr><tr><th>今年度目標値</th></tr><tr><td>113</td></tr><tr><th>最終目標値</th></tr><tr><td>100未満</td></tr></table>	策定時	122	昨年度実績値	120	今年度目標値	113	最終目標値	100未満		
	策定時									
	122									
	昨年度実績値									
	120									
	今年度目標値									
	113									
最終目標値										
100未満										
2 今年度の活動計画等										
◆年間の活動計画 ●不登校支援担当者会を開催するとともに、スクールライフサポーターや不登校対策教育支援員、不登校支援アドバイザーなどを学校に派遣し、学校における長期欠席支援を行います。 ●長期欠席（不登校を含む）の未然防止及び個別の支援が必要と考えられる児童生徒への支援を行うため、市に教育支援センター「けやき教室・さつき教室」を、また、中学校に校内サポート教室を小学校に「ほっとルーム」を設置し、学校や自分のクラスに入りづらい児童生徒の多様な学びの場の確保と、ICTを活用するなど一人ひとりに応じた支援を行います。 ●教職員の対応力向上を図るため、研修会等を計画的に実施します。 ●不登校支援プロジェクト会議を開催し、学校現場の意見を取り入れることで効果的な不登校支援につなげます。 ●不登校児童生徒理解のため、「こども支援シート」の活用を促進します。 ●三重県のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が参加するケース会議、支援会議を実施することで不登校支援にかかる早期対応や、アセスメントにもとづいた不登校支援の充実を図ります。 ●民間のフリースクール等と連携を図り、どの関係機関ともつながっていない児童生徒の学びの保障に向けた取組を推進します。										
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画									
不登校支援や児童生徒の多様な学びの場の確保等を行い、2027年度の目標値100未満に向け、今年度は目標値を113と設定した。 ※文科省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を指標としている。毎年、調査結果は10月頃に発表されるが、発表される数値は前年度のものである。そのため、令和6年度発表の数値は、令和5年度の調査結果である。	実行計画番号	実行計画書の事業名								
	12203	不登校対策推進事業								

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-2 いじめ防止対策
指標	「いじめをしない・させないよう、友だちとともに考え、行動しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等

94 %

93 %

92 %

91 %

90 %

89 %

88 %

87 %

86 %

85 %

策定時

R6

R7

R8

R9

●

実績値

▲

目標値

◆

策定時

88.0 %

88.4 %

89.2 %

90.5 %

91.7 %

93.0 %

策定時

88.0%

昨年度実績値

88.4%

今年度目標値

90.5%

最終目標値

93.0%

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

●いじめを許さず、いじめを見抜く人権感覚を持った児童生徒の育成に取り組むとともに、ピンクシャツ運動など、こどもが主体となる人権を尊重する集団作りに取り組みます。

●教職員のいじめ問題への防止等に関する理解を深め、いじめの問題に対して、その実態に応じた適切な対処ができるなどの資質や能力の向上のため、研修会の充実を図ります。

●いじめ防止対策推進法や県、市及び学校のいじめ防止基本方針に基づき、未然防止や早期発見、いじめ事案発生時の組織的対応などの積極的な支援を行います。

●SNS等を介したインターネット上のいじめに関する対策の推進を図るため、教科等を横断した系統的な情報モラル教育を進めるとともに、警察など関係機関と連携して未然防止に取り組みます。

●アンケート調査（学期に1回以上）や個人面談、教育相談の充実を図り、児童生徒が自らSOSを発信できる環境を構築します。

●三重県のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による相談体制の充実や「いじめ電話相談」「子どもSNS相談みえ」等の相談機関の紹介を行います。

◆今年度目標値の設定根拠

2024年度の実績値は88.4%であり、目標値との差は1%未満であった。そのため、2027年度の目標値の93.0%に向け、昨年度からの計画通り、2025年度の目標値は90.5%の設定を維持した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号

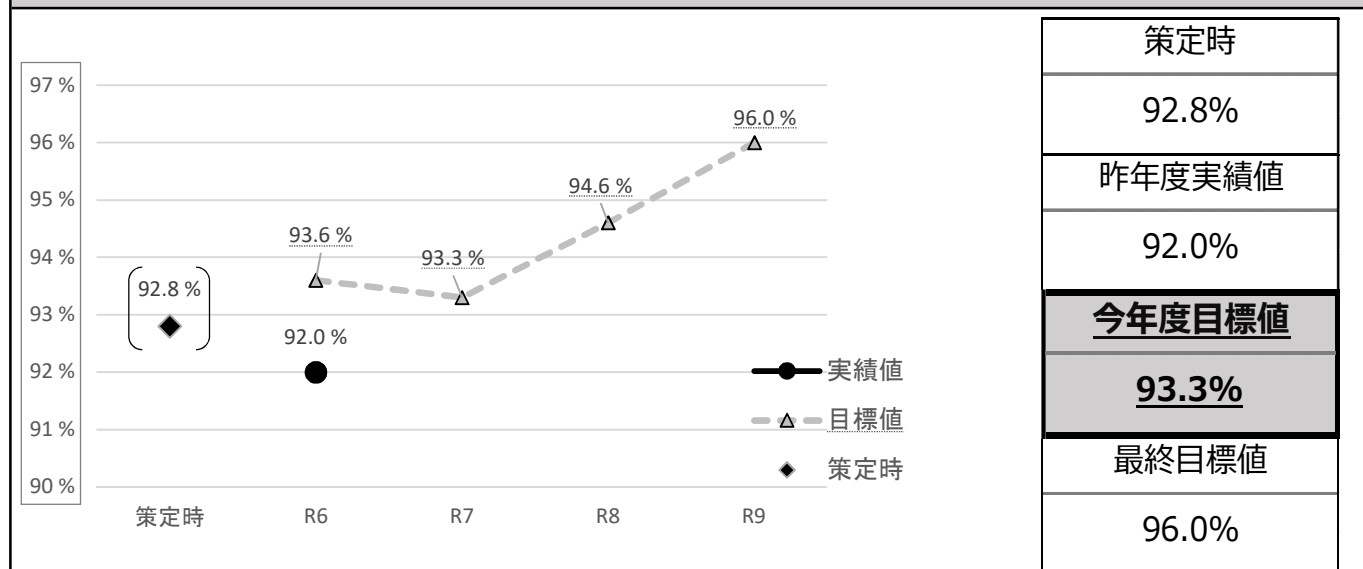
実行計画書の事業名

12204

いじめ防止対策推進事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2－3 生徒指導
指標	「学校やクラスのルールやきまりを理解し守ることができているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



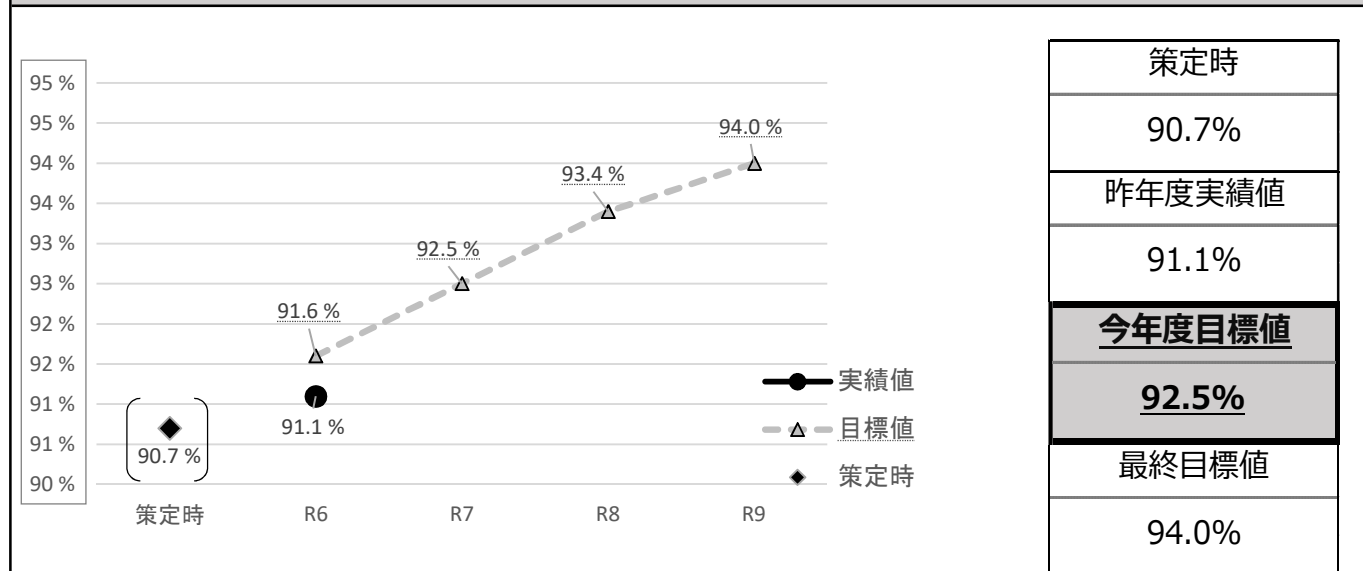
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）をあらゆる教育活動に取り入れ、教員の児童生徒理解と児童生徒との信頼関係に基づく組織的な生徒指導体制を構築します。
 - 生徒指導担当者会（年間6回）や生徒指導の実践に繋がる研修を実施し、教員の研鑽を支援します。
 - 校則の見直しやいじめ防止の取組等、生徒会及び児童会が中心となった児童生徒の主体的な取組を推進します。
 - 中学校では生徒会研修会を実施し、各校の取組を交流することで、自校の取組に活かします。
 - 生徒指導アドバイザーが組織的な生徒指導体制について各校に指導や助言を行います。
 - 鈴鹿警察署や鈴鹿児童相談所、鈴鹿市こども家庭支援課などの関係機関等と連携した生徒指導の取組を推進するとともに、好事例等を研修会や教育委員会のサイト等で紹介します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画										
2024年度の実績値は92.0%であったので、2027年度の目標値の96.0%との差4ポイントのうち約33%が肯定的な意見となることを目指し、2025年度の目標値を93.3%と修正設定した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12205</td><td>健全育成事業</td></tr> <tr> <td>12401</td><td>学校支援チーム事業</td></tr> <tr> <td>12402</td><td>青少年対策諸事業</td></tr> <tr> <td>12403</td><td>補導活動事業</td></tr> </tbody> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12205	健全育成事業	12401	学校支援チーム事業	12402	青少年対策諸事業	12403	補導活動事業
実行計画番号	実行計画書の事業名										
12205	健全育成事業										
12401	学校支援チーム事業										
12402	青少年対策諸事業										
12403	補導活動事業										

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-4 人権教育
指標	「差別をなくすために何かできることをしたいか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等

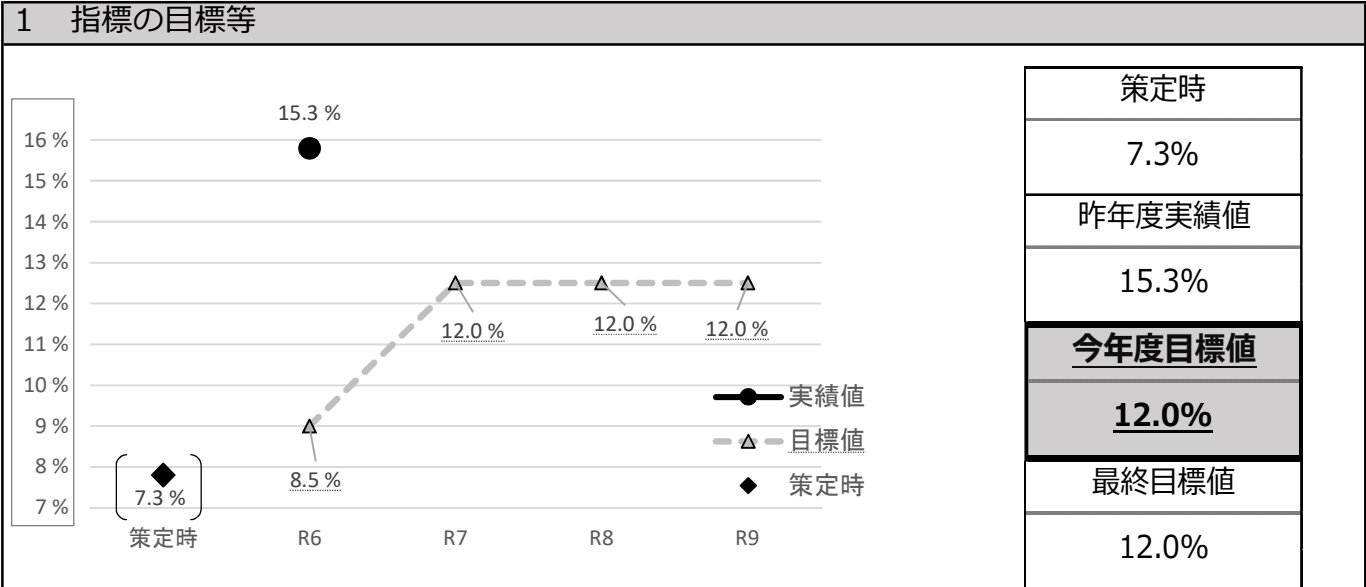


2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校・園では、こどもの実態をもとにした人権教育推進計画や人権教育カリキュラムに基づき、教育活動全体を通じた人権教育を計画的・組織的に進めます。
 - 中学校区こども人権フォーラムを開催し、中学校区で児童生徒が主体的に活動する「こども人権ネットワークづくり」を進めます。
 - 学校・園の人権教育推進に向けて、人権教育センター職員による研修会（授業研究やレポート研修含む）等の支援に取り組みます。
 - 障がいや国籍など、様々な背景をもつこどもたちが、遊びや活動、学習を通じて交流できる居場所づくりに取り組みます。
 - 教職員の人権意識の高揚を図るため、部落問題をはじめとした様々な人権課題についてアウトプット型の校内人権教育研修会を行います。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2024年度の実績値は91.1%であり、目標値との差は1ポイント未満であった。そのため、2027年度の目標値の94.0%に向け、昨年度からの計画通り、2025年度の目標値は92.5%の設定を維持した。	実行計画番号	実行計画書の事業名
	12201	学校人権教育事業
	12206	人権教育センター子どもの居場所づくり事業
	12251	人権教育センター管理運営事業

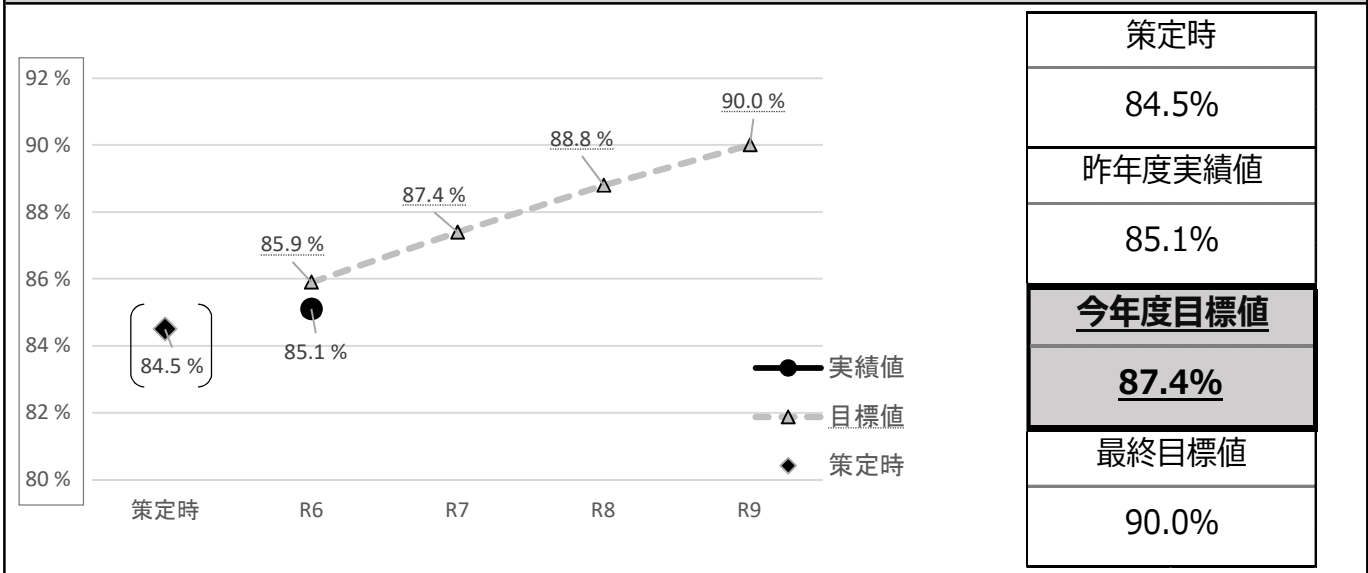
施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2－5 特別支援教育
指標	全児童生徒において、個別の指導計画を作成している児童生徒の割合【三重県独自調査】



2 今年度の活動計画等	
◆年間の活動計画	
●引継体制の充実及び途切れのない支援を行うために、公立幼稚園・保育所、私立就学前施設が参加して実施する特別支援教育コーディネーター会議や校区交流会で共有された事例をまとめ、本市における全就学前施設・小学校・中学校で共有し、よりよい支援方法を検討します。 ●継続して、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を含む「すずっこファイル」を作成し、進学や転学・進級時の引継ぎや個に応じた効果的な支援に活用します。 ●教員の専門性の向上及び通常学級での支援の充実をめざし、研修会や授業改善資料の作成等を計画的に実施します。また、特別支援学校等と連携し、実態に応じた教育課程の編成のための指導助言を行います。さらに、夏季休業中には「すずっこスクエア」の参観研修を行います。特別支援教育コーディネーター会議では、本市の現状を踏まえた研修内容を実施します。 ●通級指導教室において、個に応じた適切な支援を講じることができるよう、担当者会では、効果的な指導方法の交流、課題の共有・協議等を行います。 ●昨年度プロジェクト会議で作成した「進学・就労に向けたフローチャート（教職員向け）」を小中学校に配付し、児童生徒の将来の姿を見通しながら途切れのない支援を行う体制について、継続して協議します。 ●医療的ケア運営協議会では、主に災害時の対応や保護者の負担軽減等についての協議、来年度入学児童の支援体制の検討等を行います。	
◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画
実績値は、2023年度が13.5%、2024年度が15.3%で、2027年度の目標値を超える結果となった。本指標は最終目標値を上げることは適切でないため、国の傾向を踏まえた12.0%を基準として引き続き目標値とした。	実行計画番号 実行計画書の事業名
	12207 特別支援教育事業

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-6 日本語教育及び多文化共生教育
指標	「多くの国の人と友だちになったり、自分の国以外の国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 「JSLバンドスケール」を用いて、外国人児童生徒等一人ひとりの日本語の発達段階を把握します。
 - 外国人児童生徒等が理解しやすい授業を学校全体で行うため、「にほんごUP5」を活用した授業づくりを行います。
 - 日本語教育コーディネーターや日本語指導経験者が中心となる研修会等を実施し、教員の指導力向上・校内支援体制のさらなる充実を図ります。
 - 多文化共生教育担当者が中心となり、すべての児童生徒が、多様な文化、価値観について興味関心を高め、互いを理解し合える取組を学校全体で進めます。
 - 多文化共生教育実践EXPOを開催し、各校の多文化共生教育の実践交流を行います。
 - 日本語教育支援プロジェクト会議を開催し、国際教室における日本語の初期指導、在籍学級における日本語教育等を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画				
2024年度の実績値は85.1%であり、目標値との差は1ポイント未満であった。そのため、2027年度の目標値の90.0%に向け、昨年度からの計画通り、2025年度の目標値は87.4%の設定を維持した。	<table border="1"> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> <tr> <td>12202</td><td>外国人児童生徒サポート事業</td></tr> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12202	外国人児童生徒サポート事業
実行計画番号	実行計画書の事業名				
12202	外国人児童生徒サポート事業				

施策の 基本的方向	2 自己肯定感を高め、多様性を認め合う子どもの育成
基本事業	2-7 道徳教育
指標	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等

92 %

90 %

88 %

86 %

84 %

82 %

80 %

78 %

策定時

R6

R7

R8

R9

●

実績値

▲

目標値

◆

策定時

82.6 %

89.6 %

83.7 %

89.6 %

89.6 %

87.0 %

策定時
82.6%
昨年度実績値
89.6%
今年度目標値
89.6%
最終目標値
87.0%

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

●引き続き、全教育活動を通じて道徳教育を行えるよう、各校におけるカリキュラムマネジメントを踏まえた年間指導計画を作成します。

●主体的・対話的で深い学びに向けた「考え、議論する」道徳科の授業を実現するため、さらなる授業改善を行います。そのため、担当者会において、他市町の好事例を発信したり、学校間での事例検討や交流会の場を設定したりします。

●こどもたちが自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えられる授業を行うために、引き続き教員の研修の充実を図ります。

◆今年度目標値の設定根拠

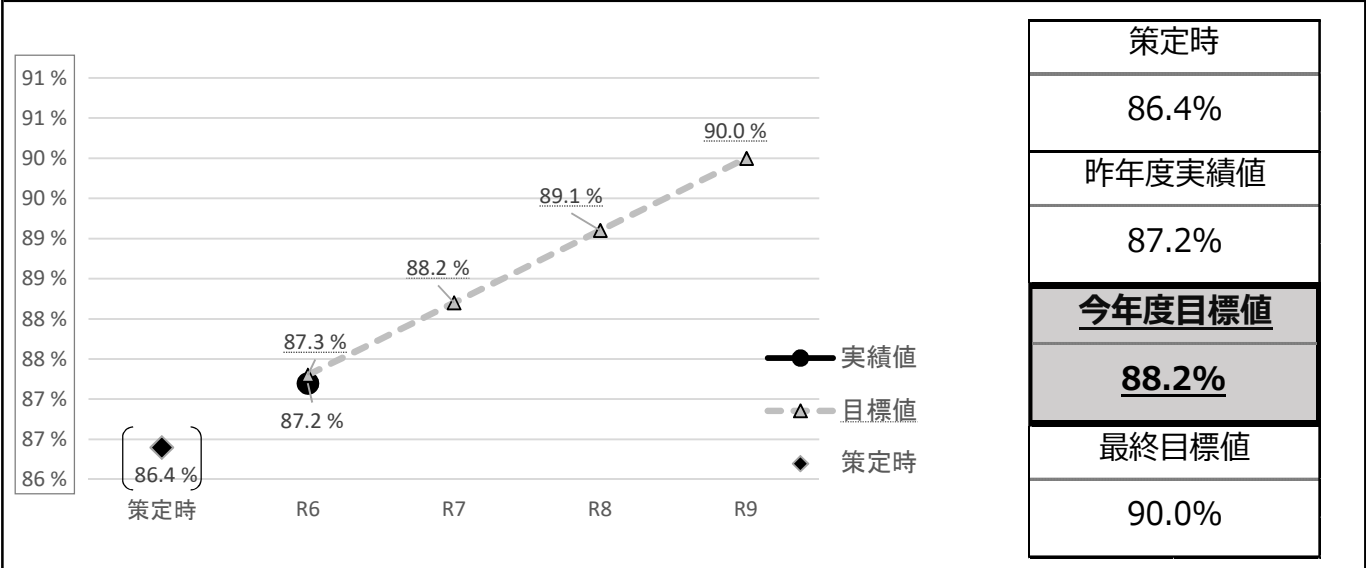
2024年度の実績値は89.6%で、2027年度の目標値を超える結果となったため、今年度は現状維持を目標として設定した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	実行計画書の事業名
12104	学力向上支援事業

施策の 基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-1 心身の健康と食に関する教育
指標	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

1 指標の目標等



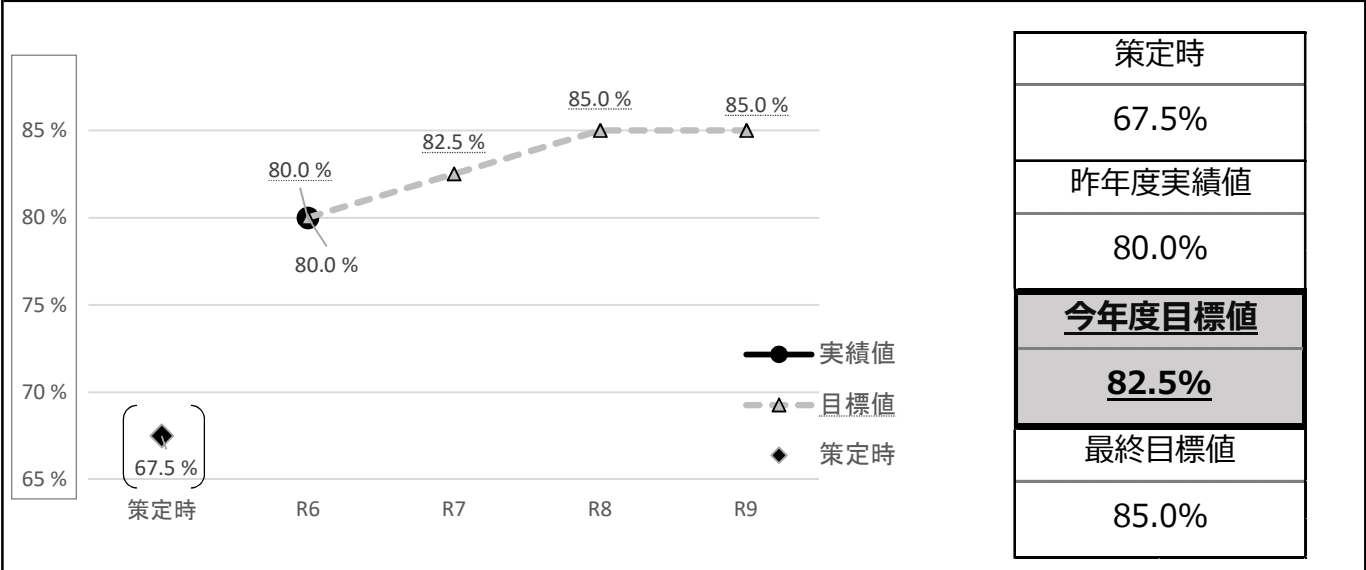
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 幼児期に望ましい生活習慣や運動習慣の確立のため、園児の興味や関心、生活経験等に基づき、環境の構成や活動内容を工夫しながら、継続して幼児の体力向上実践プログラム「きらきらタイム」に取り組みます。
 - 各学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析を基に、授業改善や体力向上に向けた日常的な体育活動に取り組みます。
 - 外部指導者を活用した健康教育出前講座や小中学校における保健体育での教科指導、保健だよりの発行などにより、疾病予防や生活習慣病対策について、啓発方法を検討しながら引き続き取り組みます。
 - 食に関する知識や指導方法の向上を目的とした「食育担当者会」の充実を図ります。そのため、栄養教諭等と連携した食に関する授業や「食育月間」「食育の日」の取組を実施するとともに、担当者会で取組を共有し、各校の実践に生かします。また、鈴鹿医療科学大学との学官連携により、レシピ集の作成・発行を継続します。
 - 全体指導計画に基づき、学校給食を「生きた教材」として活用し、残食量削減に加え、食品ロス削減や地場産食材の活用を含めた食育を推進します。
 - 児童の確かな水泳技能習得のために、学校外プール施設の利用校を拡大しながら水泳授業を実施します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2024年度の実績値は87.2%であったため、2027年度の目標値90.0%に向け、年間約1ポイント増を目標として設定した。	実行計画番号	実行計画書の事業名
	12304	教育活動事業
	12305	学校保健事業

施策の 基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-2 文化・芸術活動
指標	「未来応援人」を活用した学校の割合

1 指標の目標等



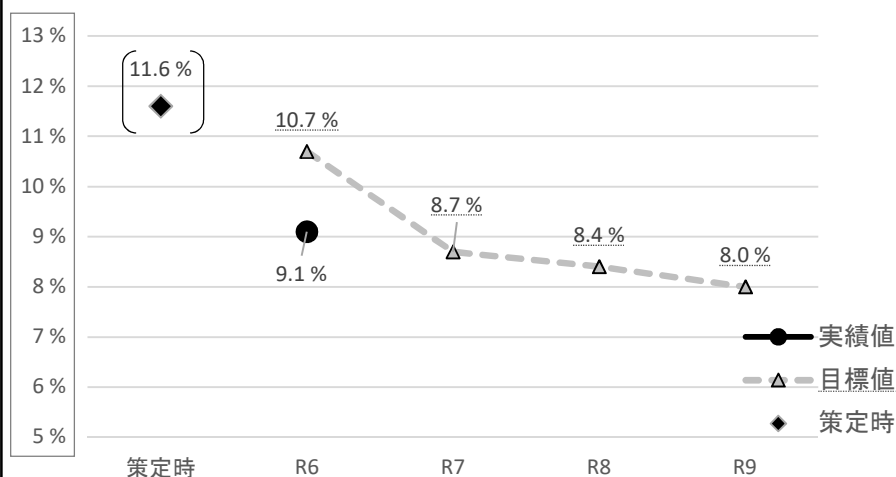
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 芸術活動の発表の機会を充実させるため、意見聴取や担当による話し合い等を通じて内容の精選及び充実を図るとともに、地域や関係団体等と連携しながら、美術作品展や科学作品展、書写展、小中学校音楽会を全市的に実施します。
 - こどもたちが、文化・芸術及び伝統文化や生活文化等を計画的・継続的に体験できる機会を充実させるため、継続して「未来応援人」事業を活用します。併せて、学校（園）や講師の活用状況等を把握し、学校（園）のニーズに応じた派遣ができるよう、必要に応じて講座内容の更新や新たな講師の登録等を行います。
 - 系統的に豊かな感性や情操を育むため、ICTも活用しながら、中学校区での文化・芸術活動等の交流を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
実績値が2023年度は77.5%（31校）、2024年度は80.0%（32校）であったため、2027年度の目標値85.0%（34校）に向け、年間2.5ポイント（1校）増を目標として設定した。	実行計画番号	実行計画書の事業名
	12302	未来応援人事業
	12304	教育活動事業

施策の 基本的方向	3 心身の健康を自ら育み、豊かな感性を身に付けた子どもの育成
基本事業	3-3 安全・安心で安定的な学校給食の提供
指標	中学校給食における副菜の残菜率

1 指標の目標等



策定時
11.6%
昨年度実績値
9.1%
今年度目標値
8.7%
最終目標値
8.0%

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

- 安全・安心で安定的な学校給食を提供するため、衛生管理面では調理員等関係職員の検便実施、各給食調理施設の衛生検査、害虫等予防、職員研修等を、食物アレルギー対応面では保護者とのアレルギー確認の徹底や保護者・教職員・児童生徒との該当児童生徒のアレルギー情報の共有による給食提供時の安全確認等の連携を、施設保全の面では設備・備品の適切な維持管理を行います。
- 中学校給食に対する意識（献立、喫食状況、給食指導、嗜好や家庭の食生活等）に関して、生徒を対象としたアンケート調査を行い、中学校給食の現状を把握するとともに残菜率改善の目標値達成に向けた取組の柱や中期的な方向性、具体的な取組内容等を定めます。
- 学校給食費の徴収事務において収納率の向上と業務の効率化を図るため、民間事業者へ電話催告業務を委託します。

◆今年度目標値の設定根拠

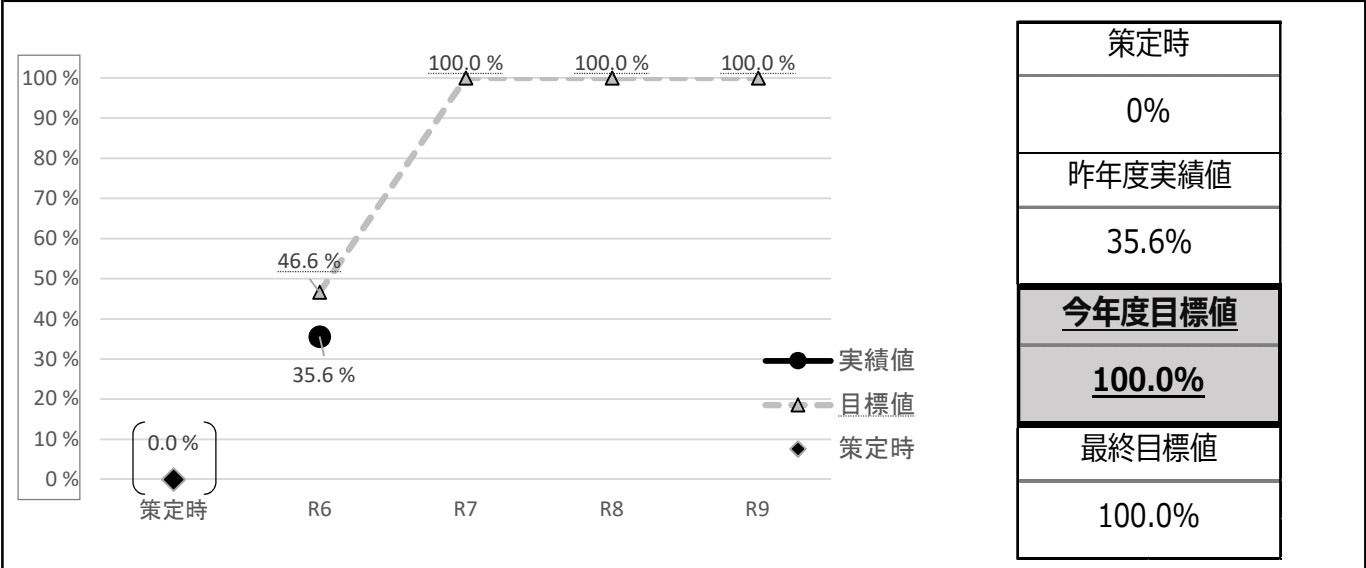
令和7年度から令和9年度までに1.1%の残菜率の改善を目標としていることから、年間で約0.4ポイントの改善を図ることを目標として設定した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	実行計画書の事業名
12301	学校給食費管理事業
12351	給食調理室運営事業
12352	学校給食センター管理運営事業
12353	第二学校給食センター管理運営事業

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4 - 1 休日の部活動地域移行
指標	休日の部活動地域移行実施率 (休日に活動している部活動のうち、移行ができた部活動の割合) 【独自調査】

1 指標の目標等



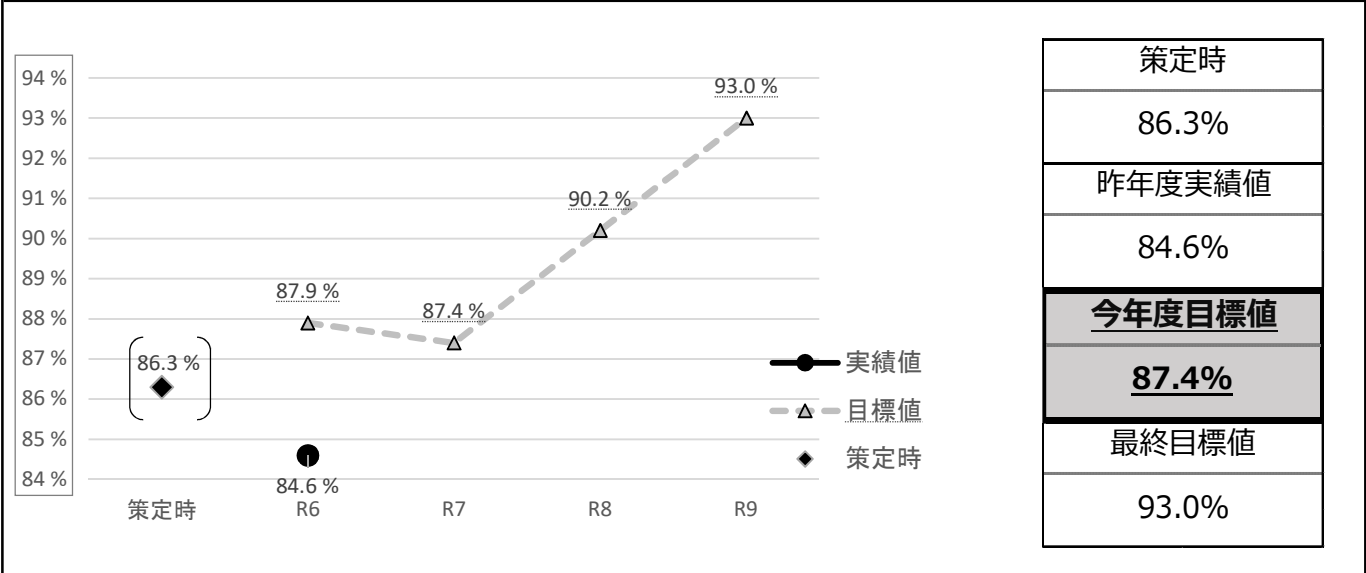
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 地域で活動する「休日の活動」への移行に向けた体制整備を進めるために、各スポーツ・文化芸術団体との連携強化を図り、指導者の確保及び種目別に最適な形態について協議を重ねます。
 - 休日に活動している学校部活動14種目全てについて、関係団体等に委託する形でモデル事業を実施し、11月以降、月1回全市的に部活動を実施しない週を設定します。また、令和8年10月以降、各団体で持続可能な運営ができるよう助言、支援を行います。
 - 地域移行に係る協議会を開催し、様々な立場から意見を聴取するとともに、関係各課によるワーキンググループにおいて、情報の共有を図りつつ連携しながら取組を進めます。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画						
2024年度の実績値は35.6%であるが、2025年度には、全部活動の地域への完全移行を行うという方針に基づき、100%と設定した。	<table border="1"> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> <tr> <td>12303</td><td>部活動振興事業</td></tr> <tr> <td>12406</td><td>部活動地域移行推進事業</td></tr> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12303	部活動振興事業	12406	部活動地域移行推進事業
実行計画番号	実行計画書の事業名						
12303	部活動振興事業						
12406	部活動地域移行推進事業						

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-2 地域とともにある学校づくり
指標	「学校と地域が連携した取組が行われているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合【学校アンケート（保護者）】

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 学校運営協議会等の中で教育課題を共有・協議し、家庭、地域、学校がそれぞれの立場から、主体的に地域のこどもの成長を支える「協働型」のコミュニティ・スクールの実践を推進します。
 - 学校運営協議会委員や地域コーディネーター等の共通認識を深め、より効果的な協働を図るために、有識者による講演会や先進地域の取組に関する研修会を実施します。
 - 学校支援ボランティア等、地域の方々の協力をさらに募りながら、地域と学校をつなぎ、地域から信頼される学校づくりを推進します。
 - 各校の学校運営協議会にコミュニティ・スクール推進コーディネーターを派遣し、「協働型」のコミュニティ・スクールの実践について助言するとともに、先進地の講師を招いた研修会を実施します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画				
2024年度の実績値は84.6%であったので、2027年度の目標値の93.0%との差8.4ポイントのうち約33%が肯定的な意見となることを目指し、2025年度の目標値を87.4%と修正設定した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実行計画番号</th><th>実行計画書の事業名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12405</td><td>コミュニティ・スクール推進事業</td></tr> </tbody> </table>	実行計画番号	実行計画書の事業名	12405	コミュニティ・スクール推進事業
実行計画番号	実行計画書の事業名				
12405	コミュニティ・スクール推進事業				

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-3 安全・安心の学校づくり
指標	「危険なことから自分たちを守るため、安全な行動を取っているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【学校アンケート（児童生徒）】

1 指標の目標等

策定時

93.1%

昨年度実績値

92.9%

今年度目標値

94.5%

最終目標値

96.0%

97%

96%

95%

94%

93%

92%

91%

90%

策定時

R6

R7

R8

R9

● 実績値

▲ 目標値

◆ 策定時

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

●「交通安全教室」や「防犯教室」「不審者侵入対応訓練」等に警察や関係団体と連携して取り組みます。

●児童生徒の適切な判断力、主体的な行動力を育成するため、防災・減災に関する意識や知識の向上を図り、講演や防災訓練、女川中学校との交流等の取組を通じて、防災・減災教育を行います。

●青色回転灯等装備車によるパトロールの実施、安全安心ボランティア等との連携、保護者や地域住民とともに行う防災教育、「鈴鹿市公式LINE」システムの活用などにより、こどもたちを守るネットワークや組織体制の整備を行います。

●道路管理者や警察などの関係機関と連携し、鈴鹿市通学路交通安全プログラムに基づく通学路の合同点検や危険箇所の改善に取り組みます。

◆今年度目標値の設定根拠

2024年度の実績値は92.9%であったので、目標値との差は1ポイント未満であった。そのため、2027年度の目標値の96.0%に向け、昨年度からの計画通り、2025年度の目標値は94.5%の設定を維持した。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号

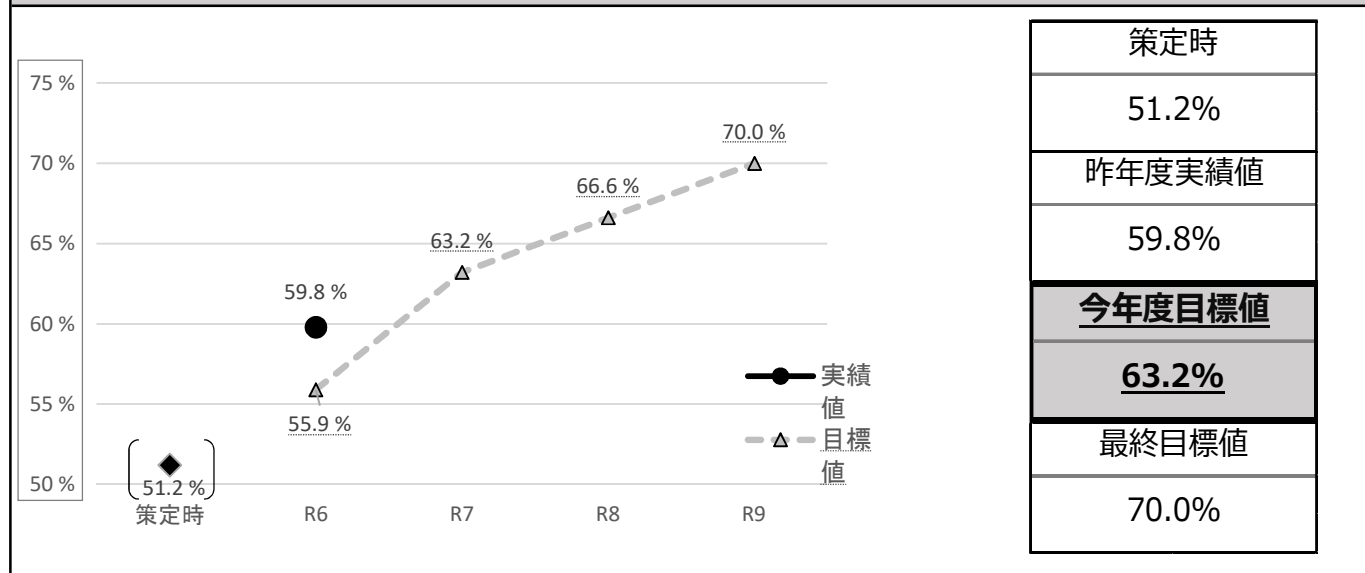
12404

実行計画書の事業名

安全安心ネットワーク推進事業

施策の 基本的方向	4 家庭・地域とともに子どもの成長を支える教育環境づくりの推進
基本事業	4-4 郷土教育及び環境教育
指標	「今住んでいる地域の行事に参加しているか」という問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合【児童生徒質問紙】

1 指標の目標等



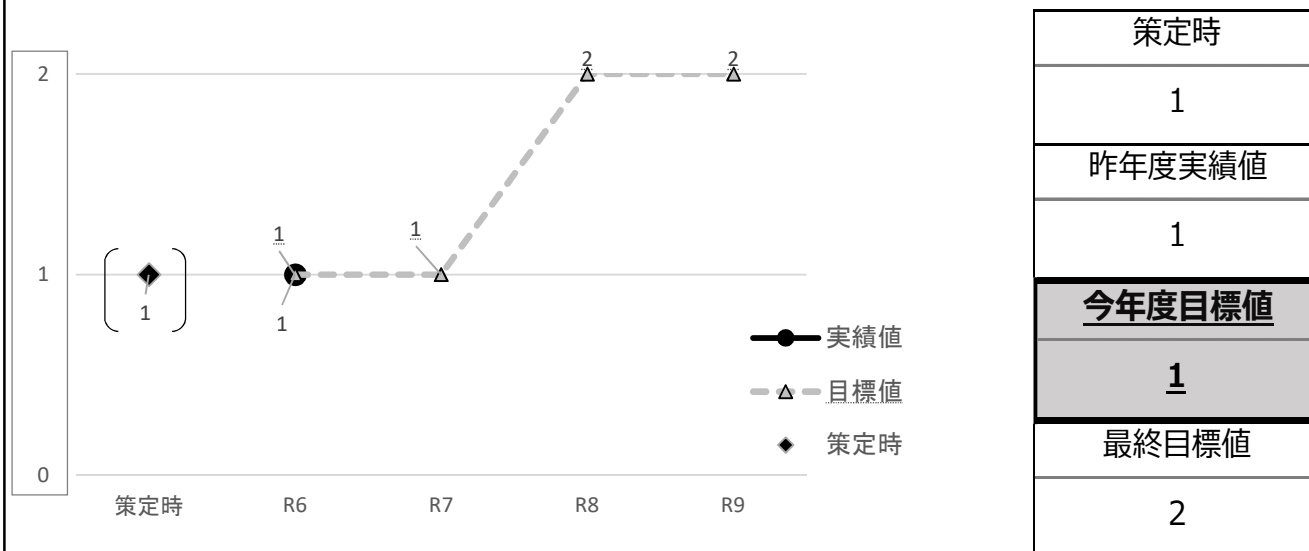
2 今年度の活動計画等

- ◆年間の活動計画
- 地域の良さや歴史、文化、豊かな自然を学ぶため、地域の人材や社会教育施設等を活用した体験学習に関する取組内容を発信します。
 - 小学3、4年生の社会科副読本「のびゆく鈴鹿市」をデジタル化します。副読本を活用し、本市の成り立ちや地理的環境、産業などの学習とともに、地域が抱える課題を解決し、よりよい社会に向けて自分たちにできることを考えるような課題解決型の授業に取り組みます。
 - 環境課題への理解を深め、主体的に行動する態度を育成するため、チャレンジ・エコスクールや学校環境デー等に、各校園で取り組みます。また、地域との連携や、体験的活動による環境教育を促進するため、出前授業等の実施を推進します。

◆今年度目標値の設定根拠	3 関連する総合計画2031の実行計画	
2024年度の実績値は59.8%であったため、2027年度の目標値70.0%に向け、年間3.4ポイント増を目標として設定した。	実行計画番号	実行計画書の事業名
	12104	学力向上支援事業
	12106	小学校教育推進事業

施策の 基本的方向	5 学校環境の整備・充実
基本事業	5－1 学校規模の適正化
指標	再編計画の策定数

1 指標の目標等



2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

- 今後20年間の児童生徒数・学級数の推移を的確に把握するために、20年推計を作成します。
- 20年推計を基に、今後、過小規模校となり複式学級の発生が予測される庄内小学校の保護者や地域への現状説明の上、意見聴取などを行い、今後の方向性を検討します。
- 「天栄中学校区における学校再編計画」に基づき、令和8年4月の「天栄小学校」の開校に向けて、準備委員会において保護者や地域とともに準備を進めていきます。
- 令和14年4月の義務教育学校の設置に向けて、児童生徒数や施設規模等の検討をはじめ、9年間の教育課程の考え方などについて再編計画骨子案を策定します。

◆今年度目標値の設定根拠

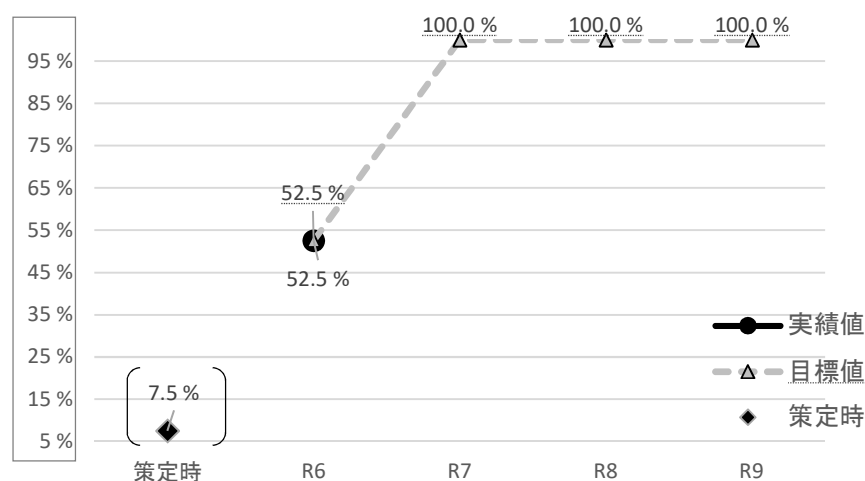
今年度は、20年推計を作成し、保護者、地域への説明と意見聴取などを行い、方向性を検討する段階であることから実績値のとおりとした。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	実行計画書の事業名
12501	教育推進事業

施策の 基本的方向	5 学校環境の整備・充実
基本事業	5－2 施設等の環境整備
指標	屋内運動場に空調設備を設置した学校の割合

1 指標の目標等



策定時
7.5%
昨年度実績値
52.5%
今年度目標値
100.0%
最終目標値
100.0%

2 今年度の活動計画等

◆年間の活動計画

- 学校施設・設備の老朽化対策として、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」に基づき整備を進めます。
- 学校給食センターの老朽化対策として、大規模改修（設備改修・厨房機器更新）を行います。
- 屋内運動場への空調設備の推進として、低コスト送風型エアコンを19校に設置することを進めます。
- 小中学校のトイレ洋式化の推進として、「鈴鹿市公共建築物個別施設計画」に基づき整備を進めます。

◆今年度目標値の設定根拠

今年度は、屋内運動場に空調設備を19校に設置する計画としているため、今年度の目標値100%と設定をした。

3 関連する総合計画2031の実行計画

実行計画番号	実行計画書の事業名
12502	河曲小学校施設整備事業
12503	小学校教育施設環境整備事業
12504	小学校学校施設長寿命化・大規模改造事業
12505	中学校教育施設環境整備事業
12506	大木中学校施設整備事業
12507	中学校学校施設長寿命化・大規模改造事業
12508	学校給食センター施設改修事業
12509	郡山小学校施設整備事業
12551	小中学校警備事業
12552	小学校施設管理事業
12553	中学校施設管理事業